

建設（建築施工）

佐川 凜

株式会社長谷工コーポレーション 第一施工統括部

卒論テーマ 福島県におけるホープツーリズムの運用実態
に関する研究(押田研究室)

出身高校

宮城県
仙台向山高等学校

好きな「まち」
会津若松市



1 どんなお仕事をしていますか？

2 お仕事での目標はなんですか？

3 学生時代に打ち込んだことは？

4 後輩に就活へのアドバイスを！

1

私の仕事は建築施工管理で、建設現場の安全管理はもちろん、工事がスムーズに進むように段取りを行うとともに出来上がっていいくものの品質管理を行います。人とのコミュニケーションを取ることで成り立つ仕事なので大変な面もありますが、やりがいと達成感がある非常に素敵な仕事です。

2

「笑顔でいること」、これは私が現場に配属されるときからずっと心にとどめていることです。どんな仕事でも、働く中で大変なことが無いなんてことはありません。しかし、笑顔と頑張る姿勢を忘れなければ、周りの皆はそれを見ていてくれます。そのため、たくさんの興味を持ち、いつでも楽しむ気持ちを欠かさずには程よく頑張りたいと思います。そし

て現場の雰囲気が良くなるような存在になることが私の目標です。

3

学生時代、私はさまざまなことへの挑戦に打ち込みました。例えば、私はロックバンドのライブへ行くことが好きなので、ドラムに挑戦しました。すると私はドラムを叩いて披露するよりも、観客としてライブを見る方が好きなことが分かりました。また、さまざまな場所へ旅行に行ったり、映画館に一人で通ったりしたこともあります。

このようにたくさんのことに対する挑戦することは、自分は何が好きなのか知ることに繋がります。それがこれから的人生での自分の心のリフレッシュの場になるのではないかと感じています。

4

就職活動に際して、私はどの仕事に就いても結局は自分がその時々で楽しいと思えるポイントを見つけることが一番大事だと思っていました。そして実際に社会人になり、本当にその通りだと感じています。

その中で、どの会社を受けるか決め手となるのは、さまざまな会社・職種のインターンシップや説明会に参加することです。そし



友達とピクニック！
おすすめです



職人さんの体調確認も
監督の仕事！
楽しく会話しています

て、それぞれの業務内容の中で大変なことがあっても自分の個性が輝ける具体的な想像をすることが、社会人になった後のモチベーションに繋がり、重要なと私は思います。就職活動中は緊張でおなかが痛くなることもあるかと思いますが、笑顔は決して忘れずに乗り越えてください。

また私は現場監督に憧れる反面、非常に大変でつらいというイメージを持っていました。しかし今となっては、事務職も現場職もそれぞれ別のベクトルで大変で、やってみないと分からぬなという感覚があります。年数を重ねるとなおさら、大変なことは無限大にあると思いますが、私は多くの人に出会い、その方々のために頑張りたいと、今は思っています。自分でも驚くほどです。そんな人もいるのだなどと、就職活動に努める皆さんにこの文章を読んでほしいなと思います。